



復興支援道路【宮古盛岡横断道路】

東北・北海道の自治体の道路事業担当者が現地を視察します ～復興事業の進捗を実感～

宮古盛岡横断道路を構成する「都南川目道路」は復興支援道路として、1工区については「平成27年度開通」、2工区も平成31年度の開通を目指して現場作業を進めているところです。また、区界道路についても（仮称）新区界トンネルの掘削が本格化しています。

この度、東北・北海道（東北6県、北海道、仙台市、札幌市）の道路事業担当者、約30名が復興事業の進捗を実感するとともに、技術の習得のため都南川目道路1工区の新川目トンネル、区界道路の（仮称）新区界トンネル等の視察を行うこととなりましたのでお知らせします。

記

1. 日 時：平成27年11月20日（金） 9：20～10：50
2. 視察場所：宮古盛岡横断道路（都南川目道路、区界道路）
（新区界トンネル宮古市側坑口 他）
3. 参加者：東北・北海道の道路事業担当者 約30名
4. 集合場所：都南川目道路田の沢IC（別紙参照）
5. その他：取材をされる際は、9：20までに集合場所へお越しください。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>

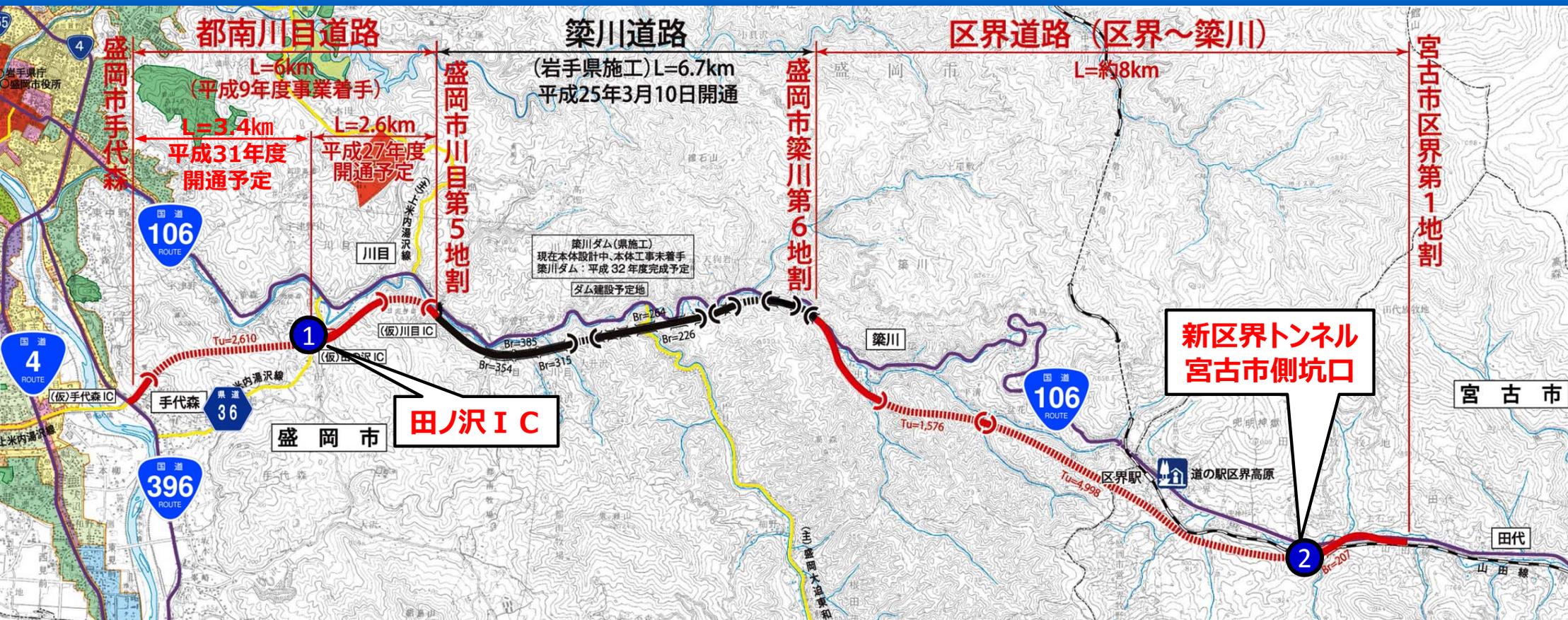
（問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

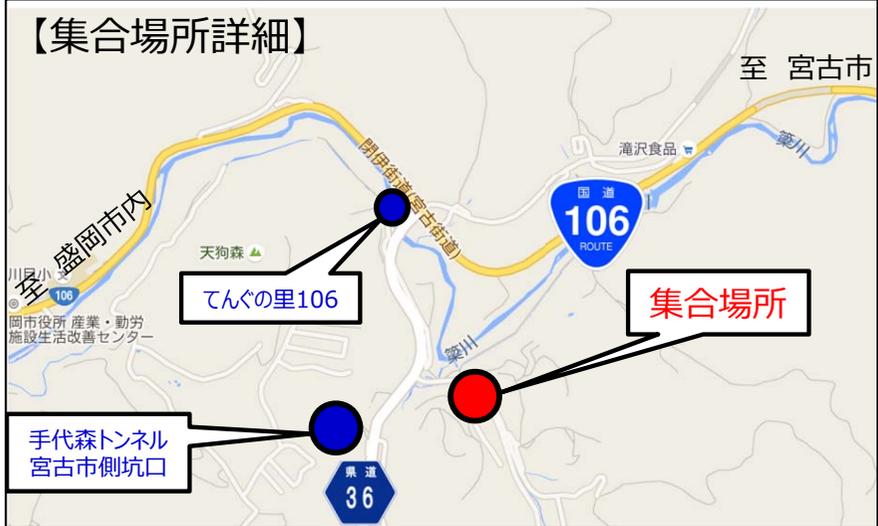
TEL 019-624-3131

副 所 長 きごし よういち 木 越 養 一（内線205）

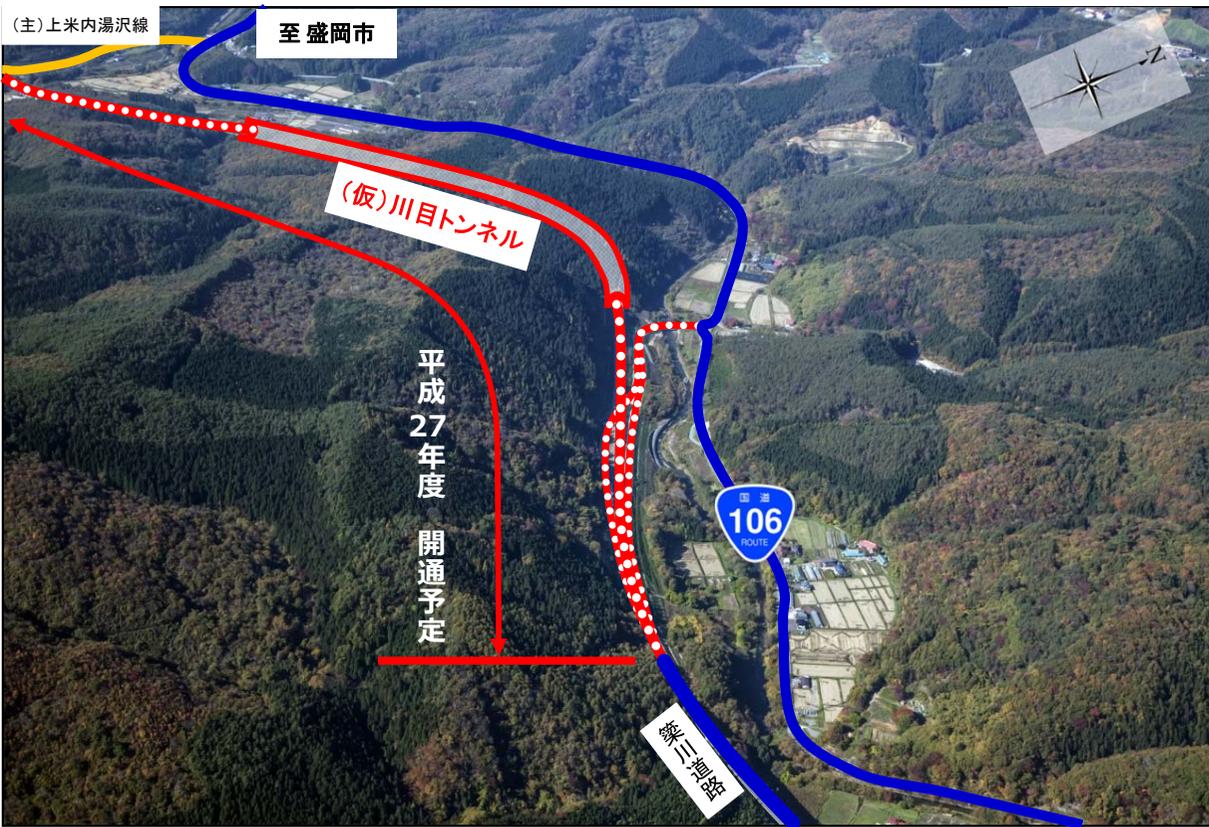
工務第二課長 とのさき たかひろ 外 崎 高 広（内線411）



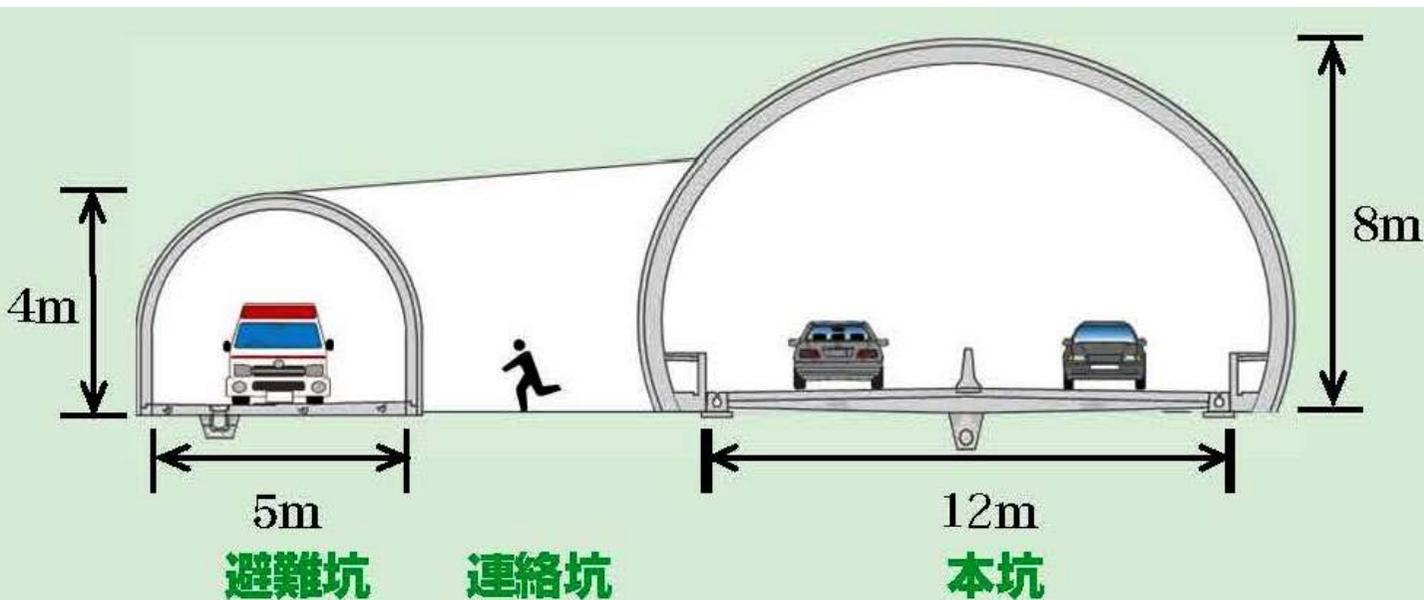
- (予定行程)
- ① 田の沢 I C 付近 : 9:20 ~ 9:40
※新川目トンネルまでの施工状況を視察
 - ② 新区界トンネル (宮古側) : 10:20 ~ 10:50



都南川目道路1工区の概要



新区界トンネルの概要



トンネル内での事故等不測の事態に備え、避難坑を設置し、車両用・人道用避難連絡坑を約350m毎に交互に連絡通路を設け、万一の場合の安全性の確保を図っています。

新区界トンネルは、完成すれば岩手県内最長の道路トンネルとなります。

